

【議案の補足資料】

「ふるさと協との関係整理に関する今後の選択肢について」

今回の議案は、ふるさと協との関係について「整理（必要に応じて解消を含む）」することを提案するものであり、**本理事会において“完全離脱を即決する”ものではありません。**

次回理事会での決議に向けて、以下のような**3つの選択肢**について各自治会・町内会でご検討いただき、意思をお持ち寄りいただければと考えております。

選択肢 A：完全離脱

- ・ 自治振興会はふるさと協との組織的關係を完全に解消。
- ・ ふるさと協への拠出金（現在約 40 万円）を来年度からゼロに（今年度は総会決議しているので支払う）。
- ・ 以後、ふるさと協との行事協力・役員選出等は一切行わない。
- ・ 各自治会や個人による自主的な関与は妨げない。

▶ メリット

予算・役員選出の負担を明確に削減。組織の目的が本来業務に集中し、持続可能性が向上

▶ 課 題：

対外的に「関係を絶った」と見られる可能性がある（ただし、説明可能）

選択肢 B：ふるさと協の改革を待ち、関係を見直す

- 自治振興会は組織的關係を一旦維持。
- ふるさと協の自発的な改革努力を見守りつつ、
将来的に「地域内の総合窓口機能」としての機能整備を期待する案。
- 必要に応じて拠出金や協力体制は段階的に見直す。

▶ メリット

改革の主導権を手放さず、「対話路線」を維持することで波風を立てにくい。将来的には望ましい統合的組織になる可能性もゼロではない。

▶ 課題

- 過去、改革の兆しが一度も見えなかった組織に、これから突然の自己改革を期待するのは極めて非現実的。
- “総合窓口機能”は、行政側が、ふるさと協に期待していた機能でありながら、現実にはどこも機能していない（行政も認めている）。
- 「期待する」「見守る」「話し合う」などの言葉で時間だけが浪費され、結果的に現状維持と同じになる可能性が極めて高い。
- 責任の所在も曖昧なまま、“また来年の理事たちに押しつけるだけ”の案。
- 最も“聞こえの良い”選択肢だが、最も“結果が伴わない”危険な選択肢。
「期待を込めて関係が続けよう」と言って何も変わらなかった組織を、
私たちはいくつも知っているはずです。

選択肢 C：現状維持

- ・ 現在の体制（組織的關係・拠出金・行事協力）を何も変えずに継続。
- ・ 問題提起はされたが、何も手を打たない選択。

▶ メリット

特に摩擦や調整をせずに済む

▶ 課 題

- ・ 機能していない組織への継続支援、人手不足・担い手不在の構造を放置する事になる。
- ・ 役員のなり手はますます減り、「続けたくても続けられない町内会」が出てくる未来が現実になる。
- ・ 「改革の機運があったにもかかわらず、それを見送った」という責任が、次代の理事会に問われることになる。

<本日の理事会での目的>

本日はこの3案を次回理事会で正式に議論・決議できるように準備を進めるための場です。各理事の皆さまには、本日以降、各所属自治会にて検討・共有を進めていただき、次回までに意思を明確にしてくださいようお願いいたします。

■「住民のため」だからこそ

「ふるさと協は住民のために作られた組織なのだから、私たち役員の都合で支援をやめるべきではないのでは？」

そうしたご意見があることも、私たちは十分理解しています。
それは、地域のつながりや活動を大切にしたいというまっとうな感情から出た言葉であり、決して否定されるべきものではありません。

しかし、だからこそ私たちは、今あらためて考え直したいのです。

「住民のため」とは、いったい誰の、どんな暮らしのためなのか？

現実には――

- ・ 活動に参加している住民はごく一部であり、大多数はその存在すら知らない
- ・ 準備や役割が一部の町内会役員に集中し、「やりたいこと」ではなく「やらなければならないこと」になっている
- ・ 会議や調整、報告といった事務的な作業に多くの時間と労力が割かれている
- ・ 若い世代が関わる余地がなく、将来的な担い手も見えない

■ そもそも「ふるさと協」は本当に住民のために作られたのか？

ふるさと協は、かつて「地域のため」「住民のため」という名目で設立された組織です。しかし、実際には補助金制度の整備や行政の要請を背景に、“形式的に必要とされた”という側面も否めません。それから約20年を経て、地域社会の形も、住民の意識も大きく変わりました。今、私たちが問うべきなのは「誰が何のために作ったか」ではなく、「今の住民にとって必要かどうか」です。

こうした状況を前にして、「住民のためだから続けよう」という言葉が、いつの間にか「やめてはいけない理由」として独り歩きしていないか――私たちはそれを静かに問い直しています。

離脱とは、何も文化活動や地域づくりをやめるということではありません。
無理を前提にした仕組みからいったん距離を置き、やりたい人が自由に取り組める環境へ整えていく、そのための「負担の再設計」です。

そしてそれは、今を支える役員たちだけでなく、これから地域を背負っていく次世代の住民にとっても、より優しい地域運営へとつながると、私たちは信じています。

■ 補足：ふるさと協への資金拠出について

自治振興会は、毎年「ふるさと協」に対して約 40 万円の資金を拠出しています。しかし、この 40 万円が具体的にどのような事業に使われ、どれだけ地域住民にとって実感のあるかたちで還元されているか——その説明は曖昧なまま、支出だけが毎年継続しているのが実情です。

「この 40 万円がなくなれば、ふるさと協は運営できなくなるのでは？」という懸念もあるかもしれませんが、けれども実際には、ふるさと協には富山市からも別途、年間約 40 万円の助成金が交付されています。

したがって今後は、「入ってくるお金の範囲内」で事業を見直し、持続可能なかたちで運営していくことも可能です。むしろこれにより、本当に必要とされる団体と事業だけが残り、形骸化した行事や、人気のない事業、“やることが目的化した活動”は自然と淘汰されていくことが期待されます。

【大沢野地区ふるさと推進協議会 構成団体一覧】

- 大沢野地区自治公民館連絡協議会
- 大沢野南部地区社会福祉協議会
- 大沢野北部地区社会福祉協議会
- 大沢野地区民生委員・児童委員協議会
- **大沢野地区自治振興会** ←私たち
- 大沢野南部地区老人クラブ連合会
- 大沢野北部地区老人クラブ連合会
- 大沢野小学校
- 大沢野小学校六葉会
- 富山市保健推進員連絡協議会大沢野ブロック
- 富山市食生活改善推進連絡協議会大沢野ブロック
- 富山市立大沢野公民館
- 富山市スポーツ推進委員協議会第 11 地区
- 大沢野地区スポーツ協会
- 富山県青少年育成県民運動推進指導員（青少年）
- 富山市男女共同参画推進地域リーダー大沢野ブロック
- 大沢野地区防犯組合

令和4年度 収支決算書報告

(自 令和4年4月1日 ~ 至 令和5年3月31日)

1. 収 入

単位：円

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 補助金	800,000	800,000	0	
1 地区補助金	400,000	400,000	0	大沢野地区自治振興会
2 市補助金	400,000	400,000	0	地域づくりふれあい総合事業補助金
2. 委託金	159,500	159,500	0	
1 市委託金	152,000	152,000	0	地域健康づくり展開催委託金 22,000 公民館ふるさと講座委託金 120,000 ふるさとづくり推進会議運営委託金 10,000
2 その他	7,500	7,500	0	青少年育成富山市民会議大沢野支部より 7,500
3. 繰越金	828,762	828,762	0	
4. 諸収入	96,738	133,711	36,973	参加者負担金 ウォーキング 10,500 参加者負担金 社会見学バスツアー 64,000 参加者負担金 ふるさと講座 49,200 生涯学習フェスティバル開催祝い金 10,000 雑 入(通帳利息) 11
収 入 合 計	1,885,000	1,921,973	36,973	

2. 支 出

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 負担金	13,000	13,000	0	大沢野・細入地域ふるさとづくり推進運 絡協議会負担金 10,000 富山市ふるさとづくり推進連絡協議会負 担金 3,000
2. 会議費	35,000	30,060	△ 4,940	役員会及び総会諸費
3. 事業費	1,752,000	1,069,330	△ 682,670	
1 ふるさとづく り推進事業費	1,355,000	756,620	△ 598,380	ウォーキング 116,688 生涯学習フェスティバル共催 145,940 スポーツ大会 136,651 社会見学バスツアー 327,431 広報発行事業 19,246 夏期巡回事業 10,664
2 公民館ふるさと講座	247,000	218,329	△ 28,671	家庭教育講座 39,900 その他講座 178,429
3 ふるさと活性化事業	50,000	54,460	△ 4,460	もののもの市
4 地域健康づくり事業	50,000	30,961	△ 19,039	消耗品等
5 研修費	30,000	8,960	△ 21,040	全体研修会ほか
6 地域こども育成事業	20,000	0	△ 20,000	
4. 事務費	35,000	38,077	3,077	事務消耗品等
5. 予備費	50,000	0	△ 50,000	0
支 出 合 計	1,885,000	1,150,467	△ 734,533	

(収入決算額)

1,921,973円

(支出決算額)

1,150,467円

(翌年度繰越額)

= 771,506円

令和5年度 収支決算書報告

(自 令和5年4月1日 ~ 至 令和6年3月31日)

1. 収 入

単位：円

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 補助金	800,000	800,000	0	
1 地区補助金	400,000	400,000	0	大沢野地区自治振興会
2 市補助金	400,000	400,000	0	地域づくりふれあい総合事業補助金
2. 委託金	159,500	159,000	△ 500	
1 市委託金	152,000	152,000	0	地域健康づくり展開催委託金 22,000 公民館ふるさと講座委託金 120,000 ふるさとづくり推進会議運営委託金 10,000
2 その他	7,500	7,000	△ 500	青少年育成富山市民会議大沢野支部より
3. 繰越金	771,506	771,506	0	
4. 諸収入	153,994	463,410	309,416	参加者負担金 ウォーキング 98,000 参加者負担金 社会見学バスツアー 135,000 参加者負担金 ふるさと講座 160,400 ウィークエンド・コンサート開催祝い金、会場負担金 70,000 雑 入(通帳利息) 10
収 入 合 計	1,885,000	2,193,916	308,916	

2. 支 出

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 負担金	13,000	3,000	△ 10,000	大沢野・細入地域ふるさとづくり推進連絡協議会負担金 0 富山市ふるさとづくり推進連絡協議会負担金 3,000
2. 会議費	35,000	19,933	△ 15,067	役員会及び総会諸費
3. 事業費	1,752,000	1,488,234	△ 263,766	
1 ふるさとづくり推進事業費	1,355,000	942,214	△ 412,786	ウォーキング 279,307 生涯学習フェスティバル共催 123,997 スポーツ大会 141,122 社会見学バスツアー 377,660 広報発行事業 12,320 夏期巡回事業 7,808
2 公民館ふるさと講座	247,000	415,307	168,307	家庭教育講座 88,190 その他講座 327,117
3 ふるさと活性化事業	50,000	55,552	5,552	にこにこサロン消耗品等
4 地域健康づくり事業	50,000	69,161	19,161	講師謝礼、健康活動消耗品等
5 研修費	30,000	6,000	△ 24,000	全体研修会参加費
6 地域子ども育成事業	20,000	0	△ 20,000	
4. 事務費	35,000	38,849	3,849	事務・調理実習室用消耗品等
5. 予備費	50,000	0	△ 50,000	
支 出 合 計	1,885,000	1,550,016	△ 334,984	

(収入決算額)

2,193,916円

—

(支出決算額)

1,550,016円

=

(翌年度繰越額)

643,900円

令和6年度 収支決算書報告

(自 令和6年4月1日 ~ 至 令和7年3月31日)

1. 収 入

単位：円

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 補助金	800,000	800,000	0	
1 地区補助金	400,000	400,000	0	大沢野地区自治振興会
2 市補助金	400,000	400,000	0	地域づくりふれあい総合事業補助金
2. 委託金	159,000	159,000	0	
1 市委託金	152,000	152,000	0	地域健康づくり展開催委託金 22,000 公民館ふるさと講座委託金 120,000 ふるさとづくり推進会議運営委託金 10,000
2 その他	7,000	7,000	0	青少年育成富山市民会議大沢野支部より
3. 繰越金	643,900	643,900	0	
4. 諸収入	282,100	528,895	246,795	参加者負担金 ウォーキング 141,000 参加者負担金 社会見学バスツアー 194,000 参加者負担金 ふるさと講座 159,900 大沢野・細入地域ふるさとづくり推進連絡協議会より (事業費余剰分を8地区で分けたもの) 23,500 雑入 (男女参画講座開催費、通帳利息) 10,495
収 入 合 計	1,885,000	2,131,795	246,795	

2. 支 出

項 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差引 (B-A)	備 考
1. 負担金	13,000	7,000	△ 6,000	大沢野・細入地域ふるさとづくり推進連絡協議会負担金 3,000 富山市ふるさとづくり推進連絡協議会負担金 4,000
2. 会議費	35,000	28,179	△ 6,821	役員会及び総会諸費
3. 事業費	1,742,000	1,419,122	△ 322,878	
1 ふるさとづくり推進事業費	1,152,000	917,303	△ 234,697	ウォーキング 300,874 生涯学習フェスティバル共催 61,470 スポーツ大会 148,895 社会見学バスツアー 372,500 広報発行事業 21,116 夏期巡回事業 12,448
2 公民館ふるさと講座	410,000	355,340	△ 54,660	家庭教育講座 39,505 その他講座 315,835
3 ふるさと活性化事業	50,000	50,000	0	にこにこサロン消耗品等
4 地域健康づくり事業	80,000	60,479	△ 19,521	講師謝礼、健康活動消耗品等
5 研修費	30,000	6,000	△ 24,000	全体研修会参加費
6 地域こども育成事業	20,000	30,000	10,000	
4. 事務費	45,000	38,559	△ 6,441	事務消耗品等
5. 予備費	50,000	0	△ 50,000	
支 出 合 計	1,885,000	1,492,860	△ 392,140	

(収入決算額)

2,131,795円

(支出決算額)

1,492,860円

(翌年度繰越額)

638,935円